

市議会へのウェブ提案箱に提出された意見等について(4/1~4/7受付分)

※ 議会は合議体であり、内容によっては議決が必要なものもあり、要望や個別的課題についての回答は決定事項ではありません。

No.	種類	内 容	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (4/12時点)	取扱い (7/19時点)	
ご意見、ご提案					
1	意見・要望	昨年ルネこだいらで、市選管等主催の政治教養講座の講師をされた元三重県知事の北川正恭氏が顧問を務める早稲田マニフェスト研究所議会改革調査部会が、2010年から毎年「議会改革度調査ランキング」を発表している。小平市は2013年に97位で初のランクインをしたあと、2016年調査では78位まで順位を上げたが、その後は下落を続け2020年調査ではついにランク外となってしまった。ちなみにこの年の集計では多摩26市のうち無回答の2市を除く24市のうち11市がランクインしている。これは小平市が議会改革を進めていないというのではなく、他の自治体が議会改革により積極的に取り組んだことで、小平市が後れを取った結果だと思う。小平市も議会運営委員会を中心に議会が一体となって再び上位へのランクインを実現して欲しい。	D	D	
v					
2	意見・要望	一般質問について、1時間の持ち時間を使い切っても足りない議員がいる一方で、逆に数10分も余らせてしまう議員もいる。年に4回しかないのだから、持ち時間は目一杯有効活用して欲しい。そのための準備期間は十分にあるはずだが。あと、議員が市民・生活者目線に立つは確かに重要だが、市の業務に関するあまりにも枝葉末節な質問は如何なものか。せめて市の政策の方向性に絡むようなレベルの内容であってほしい。	D	D	
小平市議会に期待することをお聞かせください。					
3	意見・要望	3月定例会で採択された「傍聴環境改善への要望」に関する請願の4項目を早期に実現できるように全会派で協力して頑張ってほしい。別途議会運営委員会で審議中のライブ中継が実現すれば一部の請願内容は不要との考えもあるようだが、講演やコンサートを例に挙げれば「傍聴席はリアル会場」、「ライブ中継は自宅リビング」ぐらいの居心地の差があるはず。	D	C	請願を受けて、議会運営委員会で協議が始まりました。

市議会だよりについて、ご意見、ご要望をお聞かせください。

4	意見・要望	現状のままで良いと思います。	D	D	
---	-------	----------------	---	---	--

市議会を傍聴したことがありますか。

ない	0
ある（1～3回）	0
ある（4回以上）	1